

# 2017年 冬季棚田学会若手研究者発表会

日時 2017年 12月 2日(土) 13:30 ~ 17:00 (13:00 受付開始)  
会場 立正大学品川キャンパス 11号館 6階 1161教室

## 発表① 棚田の保全と担い手育成ー農業体験の可能性を考えるー

発表者 佐藤 佳代 氏、三上 勇太 氏、石田 美佳 氏 (立正大学文学部社会学科4年)



### 発表の概要

長野県千曲市にある姨捨棚田では、棚田の多面的機能を維持するため行政や保全団体によりオーナー制度や農業体験が実施されている。このような試みに着目し、「農業体験が担い手の育成、後継者問題解決の糸口になるのではないか」という仮説をたて、長野県千曲市と上田市で調査を行った。その結果、農業体験は後継者問題の解決に直接つながるとは言い難いが、棚田を保全し続ける「耕作者としての担い手」につながる事がわかった。

## 発表② イノシシとニホンジカの生態・行動調査

発表者 高山 七星 氏、我妻 園華 氏 (群馬県立利根実業高校生物資源部2年)  
狩野 志帆 氏、山之内 鮎美 氏 (群馬県立利根実業高校生物資源部1年)



### 発表の概要

本校は、群馬県北部に位置する沼田市にあります。生物資源部では、平成20年度より野生動物の生息調査を、赤城山北西麓に位置する本校林(利根郡昭和村森下 標高:670~750m)で開始しました。平成23年度よりニホンジカとイノシシによる被害があった本校 赤城農場(利根郡昭和村川額 標高:650m)において被害対策の研究を開始しました。研究目的は野生動物からの被害をなくし、農業収益を確保することです。現在は研究フィールドを演習林とし、イノシシについては、新奇刺激実験とカメラトラップ

法による調査を併用して行い、そのデータを分析し、実用化に向けた防護柵の製作を目的に研究しています。また、ニホンジカについては、個体数調査を目的とした、季節ごとの行動サイクル調査を中心に行っています。

## 発表③ 明治及び平成の熊本地震による熊本市西区の棚田・段畑の被災状況の比較

発表者 加納 奈樹 氏 (三重大学生物資源学部 共生環境学科4年)



### 発表の概要

平成28年4月熊本地方を震源とする地震が発生した(以下、平成熊本地震)。この地震を受け、熊本市西区金峰山山麓部の農地石垣の崩壊状を調査した。この地域は、熊本市西区の農地において唯一石垣棚田が分布するところであり、熊本地震において農地被害が集中した地区である。また、明治22年7月に熊本市西区金峰山山麓部を震源とする地震(以下明治熊本地震)も発生している。平成熊本地震から127年前の地震だが、複数の研究者が被災現場を調査しており詳細な地震記録が残っている。

本研究ではそれらの記録を基に平成熊本地震と明治熊本地震による金峰山山麓部の被災状況を比較することで、その共通点・相違点を明らかにすることを目的とした。比較の結果、平成熊本地震による石垣崩壊箇所と、明治熊本地震における被災集中箇所には関係性がみられた。このことは、精度の高い過去の震災記録が、将来起こりうる地震の被災集中地域を予測する重要な情報になることを示している。また、明治熊本地震による被災集中線と平成熊本地震の崩壊箇所について地質的側面から考察し、地形の形成過程において生じた地質境界が地震被害の集中箇所に影響を与えていることが分かった。

## 発表④ 棚田の稲作継承とその担い手 -つづら棚田の取り組みをめぐって-

発表者 菊地 稚奈 氏 (九州大学大学院芸術工学府 博士後期課程)



### 発表の概要

福岡県うきは市のつづら棚田は棚田百選に選ばれ、重要な観光資源として価値が認められている。交流活動が活発に行われており、多くの観光客を集めている。しかしながら、それらの活動の拡大の一方で人口減少には歯止めがかからず、集落の消滅は目前に迫っている。

棚田は主に通い農の元住民、ボランティアベースでの地域の代理耕作グループによって維持されているが、いずれも高齢化が進んでおり、後継者の確保も難しくなっている。もはや地域住民たちだけで耕作を維持することは困難であり、外部から耕作者の流入を図らなければならない段階であると思われる。盛んに行われているさまざまな交流活動は地域住民のやりがいづくりや、収入の補助を見込んで実施されてきたが、必ずしもそれが地域の持続につながっていない。

演者らは「美しい農村再生支援事業」の補助により、耕作状況調査を実施、同時に棚田耕作を体感すべく都市住民を募集しての耕作活動を行った。それらの内容を紹介すると共に、そこから導き出される今後の課題について報告する。

## 会場アクセス



JR山手線 大崎駅北改札西口および五反田駅西口より徒歩5分 東急池上線 大崎広小路駅より徒歩2分

参加費 : 会員及び学生は無料 (会員以外は資料代 500 円)

終了後懇親会予定 (会場未定) 会費 3,500 円、学生 3,000 円

お問い合わせ & 参加申し込み : E-mail:tanadakenkyu@gmail.com FAX:03-3929-7060

電話及び郵便による申し込み不可 (申込締切: 11月28日) 懇親会は同時にお申し込みください。

氏名  会員  学生  一般  発表会  懇親会

連絡先 〒

TEL

FAX

E-mail

この情報は棚田学会の事務連絡以外には使用いたしません